

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1093.50	2023/01/09
High	1104.44	2023/01/11
Low	1051.47	2023/01/13
Close	1069.04	2023/01/13

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4658.00	2023/01/09
High	4710.00	2023/01/11
Low	4335.00	2023/01/13
Close	4396.00	2023/01/13

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1813.00	2023/01/09
High	1841.44	2023/01/09
Low	1735.42	2023/01/13
Close	1792.76	2023/01/13

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7697.00	2023/01/09
High	7819.00	2023/01/09
Low	7161.00	2023/01/13
Close	7370.00	2023/01/13

ニュースエクスプレス

プラチナ生産の減少傾向が明らかに 独立系コンサルタントの予測

独立系貴金属コンサルタントの Dr. David Davis による、PGM生産とEskomに関するレポートによると、世界のプラチナ生産は南アフリカの電力不足の影響で2023年から2027年の間に15.6トン~31.1トンの減産となる予測。

過去45年にわたって南アフリカの鉱山業と鉱山投資に携わってきたDavis氏によると、ロシアの PGM供給も 5% から 10%減るとしている。同氏は世界のプラチナ鉱山供給が将来的に減ることに対する適切な認識が欠けていると警告する。

南アフリカでは化石燃料による電力の不足に加え、送電網に限度があるために、太陽光や風力発電による電力供給が可能な地域からの系統接続ができない状況だ。

さらに PGMの加工在庫が蓄積していることで温度調節の難しい製錬・精錬加工に負担がかかって生産コストが大幅に増大しており、それが利益に影響している。

同氏は、電力の安定供給を維持するために南アフリカのプラチナ鉱山業界には、鉱山生産に影響を与えるような構造的な変化が起こるとしている。

その製造にPGMが必要なグリーン水素が脱炭素化に不可欠とされ、また世界的に年々厳格化している自動車の排ガス規制にもプラチナの役割が重要視されてきている中での減産予測となる。

欧州はロシアに依存しないエネルギー保障の確保を目指してグリーン水素戦略に力を入れており、そういったプラチナ需要の増加は供給が減るに伴って価格を押し上げるだろう。

一方、世界のプラチナ需要の4分の1以上を消費する最大の消費国である中国では、PGM市場の成長促進を目的とした新たな貿易・技術センターの建設が始まっている。

<https://www.miningweekly.com/article/solar-projects-help-support-miners-gold-pgm-operations-2022-12-01>

2023年のパラジウム需要に影響を与えるトップ要因

パラジウムの生産は2019年以降減ってはいるが、2021年には一時的に余剰となった。

「パラジウムは2021年に10年ぶりに余剰となったが、再び大幅な供給不足に戻るだろう」と語るのは、メタルズフォーカスのPGM部門のディレクター、Wilma Swarts 氏。

パラジウム需要はコロナ禍以前の2019年の354.6トン（1140万オンス）の水準に回復しておらず、高騰したままの価格がネックとなって自動車産業では代替の動きが進んでいる。

「自動車のパラジウム需要は、普通乗用車のガソリン車そのものが減っているという事以外にも、車両一台の触媒装置でパラジウムを減らしてプラチナを増やすようになったことにも影響を受けている。また、家電製品の需要が低迷したこともパラジウムの需要にマイナスとなった。」と Swarts 氏。

パラジウムは他の貴金属と違い、昨今の投資需要の上昇機運に乗り損ねている。

ジョンソン・マッセイのレポートによると「2015年から2020年にかけて続いたパラジウム ETFの売りで、保有高はピークの約93.3トンから、2021年初めまでに18.7トンに減った。」

パラジウム価格は2020年から2022年にかけて上昇したにもかかわらず、投資家はパラジウムを避けている。

同レポートの総論によると「この背景にはいくつかの要因が考えられ、価格が高騰しすぎてスプレッドが広がったことで投資家にとって更なる上昇の可能性が減ったこと、さらに、バッテリー電気自動車の普及でパラジウムの将来性に驕りが見えてきたことなどがある。」

Swarts 氏はまた、電気自動車の需要が増えたことで投資家がパラジウム離れを起こしていると指摘する。

「投資の対象としてのパラジウムは、電気自動車の普及や代替が進んだことで、投資家にとっての魅力が失せてからしばらく経つ。2022年は個人投資家の需要が11%減少し、2023年はそれがさらに減るという予測がある」と、Swarts 氏はInvesting News Networkに語った。

<https://investingnews.com/palladium-forecast/>

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 今年の工業のプラチナ需要は、経済状況が悪化しているにも関わらず、ガラス産業を筆頭に需要は1割増えて72.0トンと、過去2番目に多くなるという予測だ。工業のプラチナ需要の堅調な成長予測の背景には、工業分野におけるプラチナの用途が多岐に渡るために目先の景気動向に左右されにくいことがある。詳しくはプラチナ豆知識（工業需要の伸び）をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。